

Q1

SpaceOAR を使うと副作用がどの程度減りますか？

A1

Grade2以上の直腸毒性が3年で5.7%から0%に減ると報告されています。

解説

79.2 Gy/44回のIMRTを受けた患者について、SpaceOARを留置した群と留置しなかった群とを比較する第3相試験が米国で行われました¹⁾。3年のGrade2以上の直腸毒性は、SpaceOAR群が0%、対照群が5.7%でした(P = 0.012、[図1](#))。Grade1以上の直腸毒性についても有意にSpaceOAR群が少なく(2.0% vs 9.2%, P = 0.028)、Grade1以上の尿路毒性についても有意にSpaceOAR群が少ない結果でした(4% vs 15%, P = 0.046)。

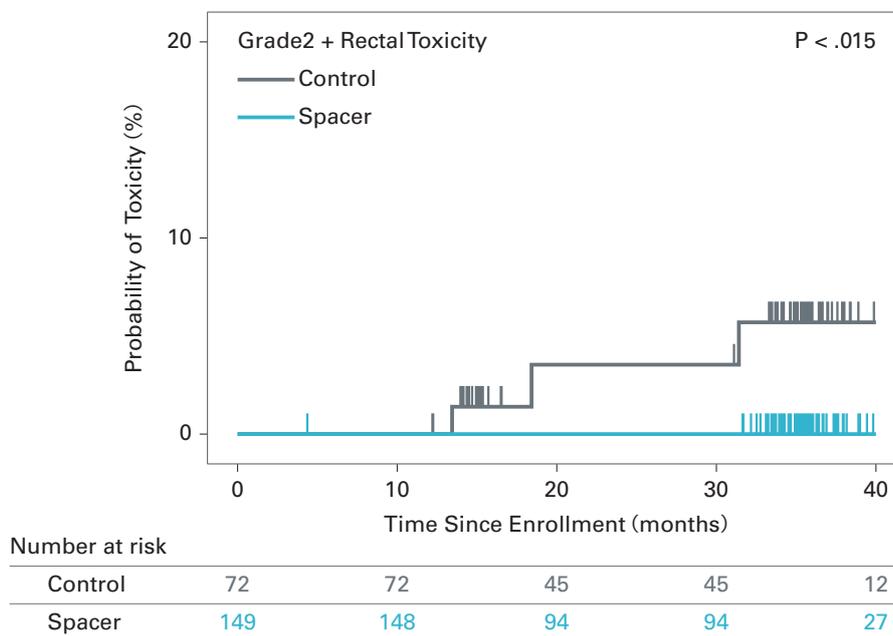


図1 Grade2以上の直腸毒性の累積発生率

高線量IMRT時代にも直腸出血を減らす有効な方策をとるべきでしょう。

参考文献

1) Hamstra DA, Mariados N, Sylvester J, et al. Continued benefit to rectal separation for prostate radiation therapy: Final results of a phase III trial. Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2017;97:976-985.